

令和 2 年 6 月 3 0 日 (火)

研究種別	総理研究 ・ 成長戦略研究 ・ 重点化研究	
研究課題名	宝飾品における三次元データのデフォルメに関する研究	
研究期間	平成 2 9 年度 ~ 令和元年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	3.8
<p>[評価所見]</p> <p>県より出土した縄文の土器・土偶を用いて、宝飾品デザインにおけるデフォルメの方法を研究し、どのようにデフォルメすれば良いかを明らかにして、「ガイドライン」を作成したことを評価できる。</p> <p>「ガイドライン」が作成され、デフォルメ作成を支援する独自のユーザインターフェイスの開発などを評価できる。</p> <p>「ガイドライン」は手段であり、それにより作業時間の短縮、出来栄への評価、教育訓練の効果などを定量的に把握して「ガイドライン」自体の評価を行うことが必要である。</p> <p>「ガイドライン」を活用して、宝飾品などのデザイン価値を高める方策を講じ、やまなしの独自性を示して、ビジネス価値の向上に努めて頂きたい。</p> <p>作成された「ガイドライン」は業界関係者の手引きとして期待される。</p> <p>「ガイドライン」の成果を、宝飾業界以外でも活用して頂きたい。</p> <p>CGなどに関心のある若者にも山梨の宝飾産業をPRできるような、成果の発信を行って頂きたい。</p>		